



■まもなく1学期が終了します。この1学期を自己評価してみましょう。

以下に示すのは、諫早高校専用の自己評価表で、本校のキャリア活動目標である「主体性」「コラボレーション」「チャレンジ」をもとに作成しており、ルーブリック評価表と呼ばれています。この評価表を用いて、以下の要領に従い、1学期の高校生活の自己評価をしましょう。

① 自己評価欄にS・A・B・Cの評価を記入する。

評価をする際には、各観点の文章をよく読み、自分に当てはまる表現にラインマーカーを引く。評価「A」が妥当だと思っても、評価「S」や「B」の文章の中に、自分に当てはまる表現があるかもしれません。ラインマーカーの箇所や数を見ながら、総合的に自己評価をしましょう。

② 評価理由や具体的な取り組み欄に記入する。

自己評価の理由を詳しく書きましょう。評価の根拠となる具体的な取り組みについても、その期間や内容、協働した人数などを詳しく記入してください。また、求められれば、その活動資料（エビデンス）が示せるように、資料の整理をしておきましょう。

観点	S	A	B	C	自己評価	評価理由・具体的な取り組み
授業	各教科の授業内容を十分に理解し、授業の中では、より高次の学習である「質問する」「話し合う」「実習する」「人に教える」活動を積極的に行うことで、しっかりと習得できた。 結果として、自己目標を超える成果を残すことができた。	各教科の授業内容をほぼ理解し、授業の中では、先生の話を良く聞き、わからないことは、先生や友人に質問するなどして、難しい問題や課題にもチャレンジした。 結果として、自分の目標と同程度の成績を残すことができた。	各教科の授業内容で理解できないこともあったが、自分でふり返ったり、質問することで、何とかついていくことができた。授業の内容はおおむね理解できた。 自分が目標とする成績には、わずかに及ばなかった。	各教科の授業内容に理解できないことがあったが、わからないことをそのままにしていることが多く残った。 自分が目標とする成績には大幅に及ばず、満足できるものではなかった。		
家庭学習	長期的、短期的学習計画を主体的に立て、毎日欠かさず、予習、復習、課題に加え、自分の苦手な教科へのテーマ学習も積極的に行った。	指示された課題などの意義を理解し、毎日、自分の成長のために積極的に取り組んだ。課題が少ない日であっても、3時間の学習を継続して行った。	指示された課題などは、おおむねやり遂げることができた。 学習時間は、課題などの量により変動があった。	指示された課題などができないことがよくあった。計画を立てずに学習をしたため、学習の取り組みが日によって不安定であり、学習時間が全くない日も時々あった。		
総合的な学習の時間	活動の意義や目的を理解し、積極的に活動した。活動では、興味、関心があることだけでなく、知らなかった、体験したことがなかった分野についても積極的に学び、対話により自己の可能性や選択肢を広げることができた。ポートフォリオにより、自己を振り返ることで成長につながった。	毎回、指示された活動に真剣に取り組んだ。周囲との対話が、自己の可能性を広げたり、見識を広げることを実感した。活動をポートフォリオにより残すことができた。	毎回、指示された活動については、真面目に活動し、活動履歴も欠かさず残した。	指示された活動に対しても積極的ではなかった。活動履歴も、十分に残していない。		
学校生活	時間や規律を守ったり、自分に与えられた役割を果たすだけでなく、学校や学級をよくするために、新たな企画や活動に主体的に参加した。	時間や規律を常に守ることができた。また、自分に与えられた役割は十分に果たすことが出来た。また、集団の一員として協調性を持って活動することもできた。	時間や規律は、おおむね守ることができた。周囲に左右されず、自分の良識に従い行動できた。	時間や規律を守れないことが多かった。		
部活動・課外活動	自己を成長させるために、テーマや目標を設定し、毎日、積極的に活動した。また、周囲との対話により、リーダーやフォロワーとして、部や団体を引っ張ることができた。	課外活動が行われる日には毎日参加し、自己の成長のために努力した。また、集団のために、与えられた役割を果たした。	課外活動には、可能な限り参加し、自己の体力や技術が向上しつつある。	課外活動は、十分なものではなかった。		
主体性	志手帳を毎日、有効に活用するだけでなく、活用方法を自分なりに工夫し、自己管理に努めた。また、常に問題意識を持ち、自分の意志で、何事にも挑戦した。	志手帳を継続して活用しながら、自己管理能力を高めることができた。自分の意志で取り組んだことが、1度以上はあった。	志手帳は、指示された時には着実に活用し、自己を振り返った。そのことで、自己管理ができるようになったと感じている。	志手帳を活用することがほとんどなく、主体的に行動することはほとんどなかった。		
コラボレーション	異年齢や異性、校外など、活動の範囲を積極的に広げ、対話を通じて、一人では、果たすことができない成果を残すことが出来た。	気心の知れた仲間やチームメイトとも、問題意識を持ち、新たな課題解決に取り組んだ。その結果、少しずつ集団が成長していると感じている。	集団で行動することを求められた状況では、周囲と協調して活動することが出来た。	誰かと協力して行動する機会はほとんどなかった。		
チャレンジ	自分の苦手なこと、未体験のことに、校内外を問わず積極的にチャレンジした。その結果、自分の成長を実感するとともに、新たな課題を見つけ継続的に活動した。	周囲にすすめられ、自分の苦手なこと、初めての事に1度はチャレンジしてみた。継続は出来ていないが、またチャレンジしようという思いがある。	今まで行ったことのないようなことにチャレンジする機会はなかったが、今後、チャレンジしたいと考えているものがある。	チャレンジしたいことが見つからなかった。		

社会では、自己評価を適切な評価規準で行い、ふり返り、改善することが求められます。自分をブラッシュアップする機会としてとらえ、真剣に取り組ましましょう。また、保護者の方や友達にも見せて、自分の1学期の評価を説明できるようになってください。

■それぞれの夏休みが始まります。

2週間の夏休み（8/3～8/18）は、これまで養った主体性を活かし、以下のことに注意して、意義ある期間にしましょう。

- ①毎日、朝早く起きましょ。目安は7:00です。
- ②0:00までには、就寝ましょ。
- ③20:00～22:00は必ず学習に取り組ましょ。
- ④情報端末の家庭内ルールを守りましょ。
- ⑤読書をましょ。
- ⑥毎日の生活状況を志に記入し、保護者の方にサインをもらいましょ。
- ⑦この期間、学習時間調査をClassiで行いましょ。毎日入力してください。入力が困難な場合は、19日以降に、学校で入力してください。

■読書のススメ

諫早高校では、早朝特別学習の廃止、土曜特別学習や模擬試験の精選を積極的にすすめています。その理由の1つは、得られた時間を、自分の新しい資質や能力を向上させるために使って欲しいからです。その方法は人によってさまざまですが、その1つに読書があると思います。ここでいう読書とは、自分が好きな本ではなく、硬質な表現が並ぶ少し難しい本や、自分が深く考えたい社会問題（例えば、課題研究において自分が設定したテーマに関する分野など）についての本を読むことです。わからないときは立ち止まり、調べながら理解していくことも大切です。人は言葉で思考し、言葉で表現します。たくさんの言葉を知ることは、自分の価値観や考えを広げたり深めるために欠かせないものです。そのためにも読書の時間を1日の中に少しでも作ってみてください。